



# Q.10

## 少子高齢化が進んだら将来の「所得代替率」や「年金の実質価値」はどうなるの？

※所得代替率については別の話を参照

ねえミーコ  
所得代替率って  
どのくらい  
下がるの!?

財政検証の  
結果を見ると

少子高齢化で  
所得代替率が  
下がるみたい  
だね

人口比  
(20~60歳 ÷ 65歳以上)

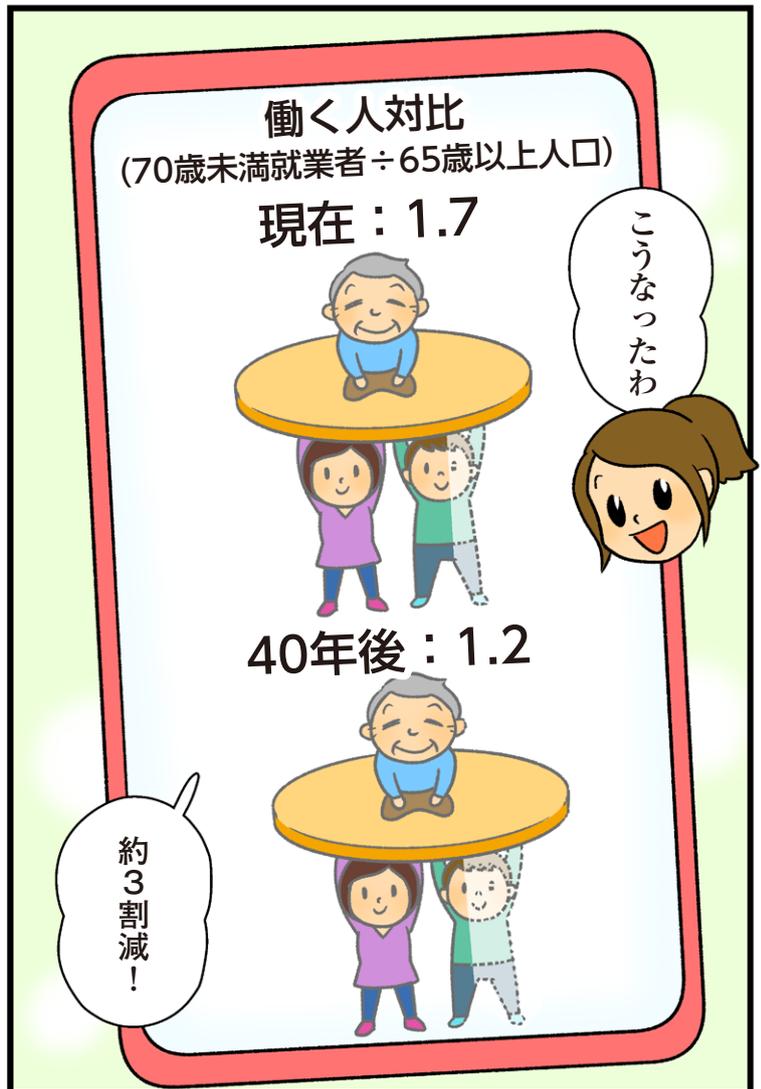
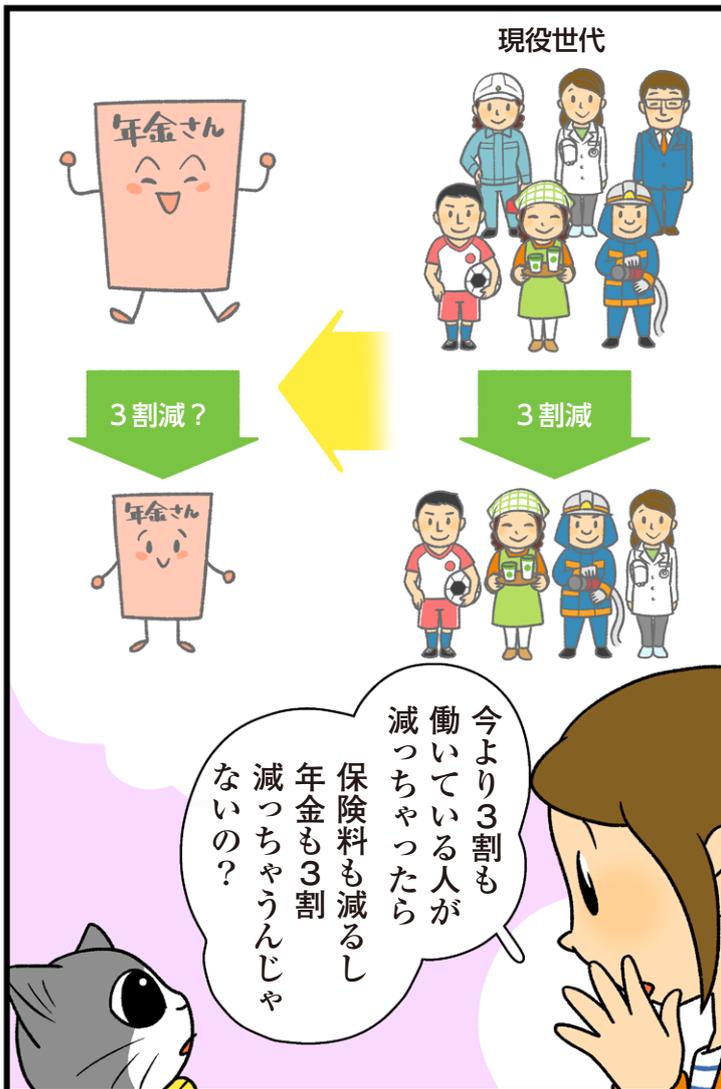
現在：1.7

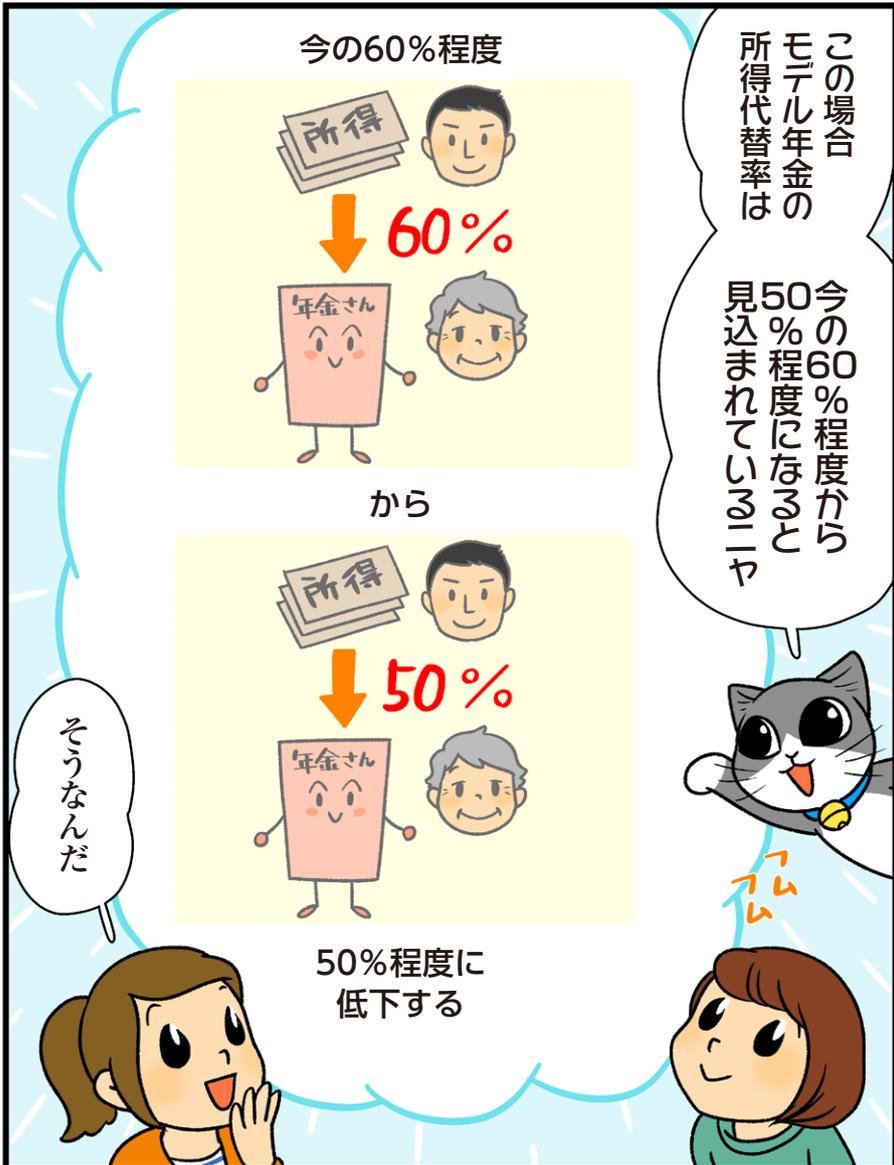
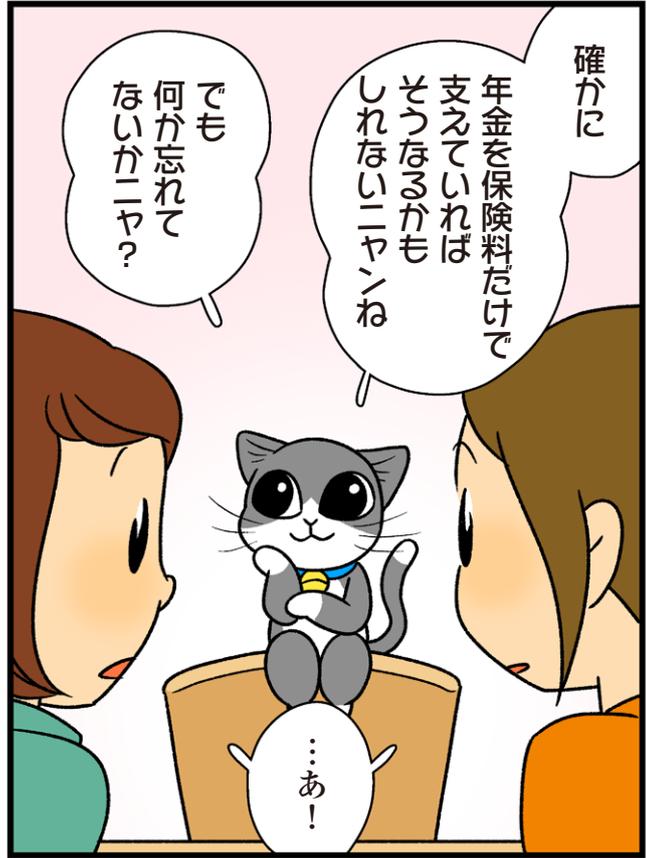
40年後：1.1

計算すると  
こうなる  
ニヤン!

じゃあ  
少子高齢化に  
注目して  
所得代替率の  
将来の見通しを  
見てみるニヤン

まずは  
現役世代が何人で  
1人の高齢者を  
支えることになるかを  
調べてみるニヤン!







所得代替率が下がっても…

年金さん

所得

所得代替率は  
あくまで  
現役世代の  
所得に対する  
相対的な割合だ  
ニヤン

年金 ↓ アップ

賃金 ↓ アップ

年金さん

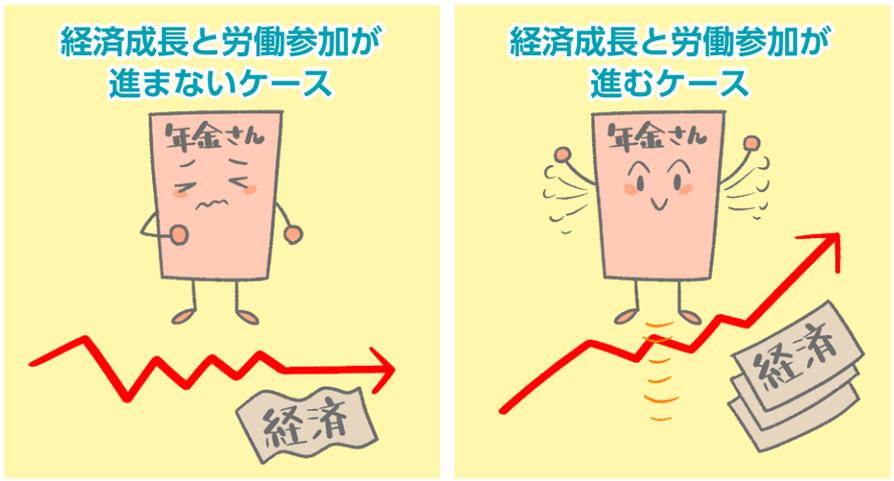
所得

だから  
現役世代が豊かになって  
実質賃金<sup>※</sup>が上がれば  
所得代替率は  
下がっても  
年金の実質価値は  
維持されたり  
上がったたりすること  
もあるニヤン

となる場合も

※物価の変動を考慮した賃金のこと





などなど…



財政検証では  
色々なケースを  
想定していて  
それぞれのケースでの  
試算結果を示している  
ニヤン



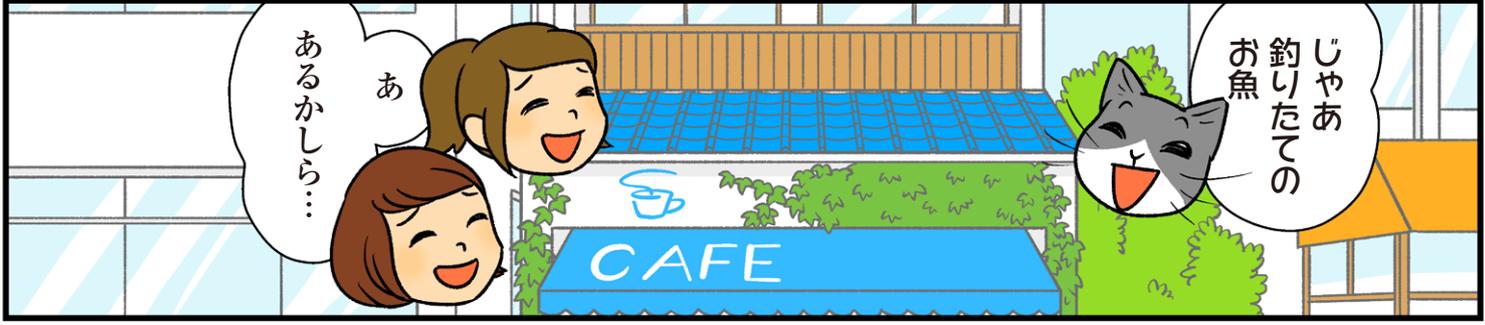
勉強に  
なったらわ

ミーコ  
好きなもの  
注文して  
レクチャー代よ



そうだ  
ニヤン!

つまり  
経済が成長して  
より多くの人が  
働ける社会を  
作っていけるかが  
カギってことね



あ  
あるかしら…

じゃあ  
釣ってたの  
お魚

# A.10

「所得代替率」は、経済成長と労働参加が進む場合、2割程度の低下にとどまる見通し。「年金の実質価値」は、現役世代の実質賃金が上がれば、維持されたり上がったりすることもある。

